



平成 27 年度ウレタン原料工業会会長 工藤 雅之

ウレタン原料工業会創立50周年を迎え、心よりお喜び申し上げます。

これまで本会の発展に多大な貢献をいただいた諸先輩、会員各位に深く感謝するとともに、今後も引き続き発展し続けることを祈念しております。

この記念すべき50周年の大きな節目に、当工業会の会長に巡り合わせたことを非常に光栄に思うとともに、今後も当工業会がウレタン原料業界の更なる発展に貢献していけるように尽力していきたいと思っています。

この僅か10年間を顧みましても、我々を取り巻く産業・経済界は大きな変動がありました。例えば石油燃料事情の変革・中東情勢・欧州諸国の債務超過問題等挙げればきりがありませんが、ウレタン業界においてもその影響を大きく受けてきました。また、中国の急成長・東南アジアの発展に示されるような新興国における産業の急速な拡大が見られました。その反面、国内需要は成熟期を迎え市場の成長は鈍化してきていると言えるでしょう。そのため、日本の各産業界も国内のみにとどまらず、全世界へ軸足を移していかざるを得ない環境となってきました。そのような事業、経営環境の変化を背景に主要需要家である自動車、家電業界をはじめとした多くの業界分野で海外へ生産拠点移転を進め、我々の活動も素早い対応、多様化が求められ世界全体に広がって会員各位と連携を深めて参りました。

2008年には世界同時不況となり、過去に例を見ない急速な円高、デフレの進行等、我々の業界も非常に厳しい事業環境に陥りました。更には2011年に東日本大震災がおり、更に厳しい経験をいたしました。いまだ癒えない傷が残っておりますが、ウレタン業界もこれら困難を克服してきたことは会員各位のご協力の結果だと思っています。一方、この大きな苦難を経験した市場では環境問題、省エネ問題等に関心が深まり、ウレタンの有用性が再認識され一段の進歩を果たして来ることができました。今後は2020年の東京オリンピックを始め新幹線の拡張、リニアモーターカーの実用化、省エネ対策の進化、それらに伴う環境安全面整備拡充など当工業会が果たすべき役割はまだ山積みとなっています。会員各位の一層のご協力を得て飛躍していけるよう努力していきたいと思っております。

最後になりましたが、今後更に60年、70年と当工業会が発展し続けることを祈願して、私の挨拶とさせていただきます。

平成27年8月26日